

F-9 消費者行動の分析(その2) 品目志向・経済効率と生活環境諸要因の多  
 多変量相関  
 実践女大家政 ○丹羽昌子 西尾美知子 酒津美代子

目的 全前

方法 標本は全前 計算は重相関・重回帰

結果 品目志向・経済効率については、生活費・家族数との相関が高い。  
 注、紙面の都合で別表は割愛する。

表8-3 重回帰分析

変数1	変数2	変数3
1 生活費	主婦の年齢	経済効率
2 生活費	家族数	経済効率
3 生活費	子どもの年齢	経済効率

偏相関・重相関

	$r_{12.3}$	$r_{12.3}$	$r_{23.1}$	$R$
①	0.34624	-0.19632	-0.05301	0.23489
②	0.34416	-0.25142	0.10907	0.25244
③	0.40442	-0.26169	-0.01852	0.22986

単相関

①

	1	2	3
1	1.000		
2	0.364	1.000	
3	-0.229	-0.133	1.000

②

	1	2	3
1	1.000		
2	0.329	1.000	
3	-0.229	0.024	1.000

重回帰

①	$Y' = -0.094X_1 - 0.008X_2 + 2.670$
②	$Y' = -0.119X_1 + 0.135X_2 + 3.411$
③	$Y' = -0.099X_1 - 0.003X_2 + 2.937$

③

	1	2	3
1	1.000		
2	0.429	1.000	
3	-0.229	-0.113	1.000